

ガウディア新聞

2024 AUTUMN

減らしたい『**チクチク言葉**』

増やしたい『**ふわふわ言葉**』

こんにちは。ガウディア本部ママ社員のさかぐちです。
みなさまは「チクチク言葉」と「ふわふわ言葉」という言葉を聞いたことはありますか。

先日、「早くしてよ！いつも遅いだから！！」と感情に任せて娘を怒ってしまいました。すると即座に、「ママ、それはチクチク言葉だよ！ふわふわ言葉を使って！」と言われ、ハッとしました。さかぐち家の子どもたちは保育園で「チクチク言葉」と「ふわふわ言葉」について教わってきました。チクチク言葉は相手を「チクチク」と傷つける言葉のこと、ふわふわ言葉は相手が「ふわふわ」とうれしい気持ちになる言葉のことです。最近では道徳の授業でこの言葉について扱う小学校も増えてきたそうです。

自分の子どもがお友達と遊んでいるときの会話でヒヤッとした経験はありますか。ふざけて笑いながらであっても、やはり「うざい」や「きもい」などという言葉は気になります。そこで今回は、減らしたい「チクチク言葉」と増やしたい「ふわふわ言葉」を具体的にご紹介します。

ライターは
ガウディア本部ママ社員
さかぐちです♪
絶賛子育て中！



参考させていただいたのは
『チクチク言葉専門サイト』
(tikutiku-kotoba.com)

チクチク言葉の例

ばか きもい
うざい ださい
あっち行って
は？
しらないの！？
はやくして

子どもは深く考えずに「チクチク言葉」を発していることがあります。「自分が言われたらどう思う？」「言われた相手は悲しい気持ちになっているよ」と伝えていきたいですね。

どんなに時代が変わっても人と人とのコミュニケーションは大切です。子ども同士のコミュニティの中でも、親子の間でも、なるべく「チクチク言葉」を減らして「ふわふわ言葉」を増やしていくようにすれば、関係が良くなりトラブルも防げます。すぐには難しいかもしれませんが、「チクチク」を「ふわふわ」に変えていけるコツをご紹介します。

ふわふわ言葉の例

ありがとう
だいすきだよ
おうえんしているよ
だいじょうぶだよ
がんばったね
うれしいよ

『チクチク言葉』を減らして『ふわふわ言葉』を増やすコツ

- 01 相手を思いやる気持ちを持つ
- 02 自分に置き換えて考えてみる
- 03 少し時間や距離をとってみる

「こういうところはダメかもしれないけど、こういう良いところもある」という風に考えるようにしましょう。相手の良いところを見つけてるようにして伝えていくと、ふわふわ言葉が自然と出るようになりますよ。

「自分が言われたらどう思うかな」「自分ならどう言われたらがんばれるかな」と考えてみましょう。ふわふわ言葉は、言う人も言われる人もお互いに気持ちがあたたかくなる言葉です。自分が言われてうれしい言葉なら、きっと相手もよろこんでくれますね。

ひと呼吸おいて気持ちを落ち着かせる時間や、その人と距離をとることも必要かもしれません。チクチク言葉は、相手のことを考えずに自分のイヤな気持ちだけをぶつけている言葉です。お互いが今「チクチクな気持ち」だと思ったときには、距離をとって気持ちを落ち着かせる時間も必要でしょう。

娘がおままと「お母さん役」をやっているときの口調に驚いたことがあります。「早くしなさい、何やっているの」「何度言ったら分かるの」「だから言ったでしょ」など、さかぐちが娘に使う言葉そのもののオンパレードで、聞きながら恥ずかしくなっていました。「ふわふわ言葉」が大事だと頭では分かっているけど、どうしても心穏やかでいられないときもあります。そんな時は一瞬言葉を飲み込んで、とにかく「チクチク言葉」を出さないように気を付けようと思いました。我が子に思いやりのある子に育ててほしいと願うなら、まずは親から子への声かけを変えてみましょう。きっとお子さまはお友達に「ふわふわ言葉」をたくさんかけられる思いやりのある子に育てられるはず。さかぐちも意識して過ごしていこうと思います。一緒に頑張りましょう♪
『チクチク言葉専門サイト』には、子どもにも分かりやすいチクチク言葉に関する迷路のプリントなども掲載されています。ぜひ一度検索してみてください。

